

視聴維持率から 冒頭・構成・尺を改善する読み方

制作会社のノウハウを、社員が再現できる運営の仕組みへ。

曲線を見る前に、**変える判断**を決める。

この資料で決める**5つ**

比較する動画の**条件**

離脱した場面の**見つけ方**

冒頭と約束の**つながり**

構成と尺を変える**仮説**

次の動画で**確かめること**

視聴維持率は、視聴の続き方を考える手掛かりです。原因や満足度を一つの数字で断定しません。

平均値だけでは、直す場面が見えない。

読み違いやすい場面

平均だけを見て全体を短くする

長さの違う動画を単純に比べる

視聴者や配信条件の違いを無視する

一度の上下を企画の正解にする

台本・映像・字幕・音声を同じ時間軸で見て、数字が変わった場面を確認します。

比較の前に、指標と条件をそろえる。

記録する条件

定義	指標の分母・集計方法・取得元
動画	目的・対象・テーマ・長さ
配信	公開後の日数・予算・流入の違い
制約	データ量や未計測で分からないこと

媒体ごとの説明を確認し、意味の違う数値は同じ基準で順位付けしません。

曲線と台本を、場面ごとに照合する。

見る順序

数字の変化がある時点を記録する

その前後の映像と音声を再生する

伝えている内容と字幕を確認する

視聴者が迷う可能性を書き出す

次に変える要素を一つ選ぶ

急な変化が見えても、原因は仮説として扱います。少数の反応だけで結論を急ぎません。

制作実務と育成実務を、 同じ流れで教えられる。

ショート動画屋さんは、広告、SNS運用、通販、営業、採用など目的の異なる動画を
200社以上・3,000本以上制作してきました。

ディレクター・構成・撮影・編集を分け、複数人で速く品質を揃える制作フローを運用しています。

制作フロー（役割を分けて、速く品質を揃える）



内製化支援での引き継ぎ

実際に制作へ携わる担当者が、
この流れを企業の人員・目的・
頻度に合わせて移します。

実際の流れをそのまま社内で再現し、**制作を続けられる体制**をつくりましょう。

冒頭は、見る理由と内容の一致を確かめる。

冒頭の確認項目

誰のどんな疑問に答えるか伝わるか

最初の言葉と映像が同じ内容を示すか

前置きで答えを待たせていないか

興味を引く約束を本編で回収しているか

強い言葉へ変える前に、視聴者の疑問と動画の答えがつながっているかを見ます。

途中の離脱は、説明の順序を点検する。

構成の確認項目

一つ前の説明を知らないと理解できないか

具体例より先に専門語が続いていないか

同じ説明を繰り返していないか

次に何が分かるか見失っていないか

離脱した場面だけを削るのではなく、その前の説明から順序を見直します。

映像・字幕・音声を、別々に点検する。

確認する要素

映像 話している対象や変化が分かるか

字幕 一画面の情報量と読む時間は適切か

音声 言葉が聞き取れ、間が長すぎないか

編集 切り替えが理解を助けているか

同時に全部を変えると理由が分かりにくくなります。まず一つの要素を検証します。

尺は、伝える内容を整理してから変える。

残すか削るかの基準

答えを理解するために必要か

具体的な根拠や例になっているか

同じ意味を別の言葉で繰り返していないか

行動するための情報が足りているか

短くすること自体を目標にせず、一つの疑問に必要な答えが残る長さへ整えます。

最後まで見た人の、**その後も**確かめる。

終盤で見ること

答えが十分に伝わっているか

次の行動が一つに絞られているか

案内先が内容とつながっているか

目的行動や反応の質が変わったか

視聴維持率が改善しても、問い合わせや応募などの**目的へ近づいたか**を別に確認します。

改善案を、一つの比較できる変更へ落とす。

検証メモの例

事実	冒頭の説明中に視聴が減った
仮説	対象と得られる答えが伝わっていない
変更	冒頭で対象の疑問と答えを先に示す
確認	同じ目的の動画で視聴と目的行動を見る

これは考え方の例です。対象・公開条件・尺の違いを記録し、変更の効果を断定しません。

学びは、編集指示へ戻して残す。

次の制作へ渡す情報

見直した時点と該当する台本

確認できた事実と未確認の仮説

変える要素と変えない条件

担当者・公開日・判断日

制作工数と修正の負荷

採用した変更だけでなく、判断を保留した理由も残すと次の比較に使えます。

月4本で、**見方と直し方**をそろえる。

モデルケース

企画と撮影は**社内**で準備

初期テンプレートは外部伴走で整備

場面ごとに一つの**改善仮説**を記録

8週間で視聴・目的行動・負荷を確認

成果保証ではなく検証のモデルです。修正理由を共有できる範囲から始めます。

90日で、数字を編集判断へつなげる。

0～30日 | 指標の定義と比較条件をそろえる

31～60日 | 台本と曲線を照合し、一つずつ変更する

61～90日 | 学びと工数を振り返り、制作の型を更新する

期間は目安です。続ける・役割を変える・外部へ相談する・止める判断も残します。

次の一本は、**変える理由**から書き始める。

今日決める5つ

目的と比較する動画

確認する場面と時点

一つだけ変える要素

数字と映像を見る担当者

最初の4本を振り返る日

ショート動画屋さんの内製化支援では、自社に合う役割・手順・改善方法を一緒に設計します。

自社の内製範囲を相談する